

南アルプス市立落合小学校	自己評価書	平成26年1月20日(月)
学校長 松野 拓		記述者 教頭 山本由美子
学校教育目標 「心豊かで たくましく よく学ぶ児童の育成」		
学校経営方針		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新学習指導要領に基づき「生きる力」の育成を図る適切な教育課程の編成と実施に努める。</li> <li>2 特別支援教育推進に向けて校内体制の一層の充実を図る。</li> <li>3 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスよい育成を基盤に「生きる力」の育成に努める。</li> <li>4 質的向上を目指した授業改善による「確かな学力」の育成に努める。</li> <li>5 道徳教育、体験活動、読書活動の充実を目指し、豊かな心を育成し、心の居場所づくりに努める。(いじめ・不登校のない学校づくり)</li> <li>6 安全・体力・健康に関する指導の充実に努める。</li> <li>7 将来の夢や希望を醸成するキャリア教育を推進する。</li> <li>8 家庭、地域との連携を深め開かれた学校づくりを推進する。</li> </ol>		
I 全体評価		
<p>自己評価は、【A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない】の4段階評価で実施した。</p> <p>本校の自己評価結果は、総合的に見ると多くの質問内容で、肯定的な回答が大勢を占め、総じて評価は高い。</p> <p>「学校教育目標」 ①～⑤ (A・B：100%)</p> <p>「学校経営・組織」 ①～⑥ (A・B：94.9%)</p> <p>「学習指導・生徒指導」 ①～⑥ (A・B：99.0%)</p> <p>「地域との連携」 ①～⑤ (A・B：96.5%)</p> <p>「学校の特色」 ①～③ (A・B：100%) となっている。</p> <p>いずれの項目においても、肯定的な意見(A・B)が大半を占める結果となった。</p>		
II 各項目ごとの評価結果(達成状況・改善策)		
1 「学校教育目標について」		
達成状況	<p>・①～⑤まで、すべてが「A：そう思う B：ややそう思う」という評価になっている。</p> <p>今年度の第1回目の自己評価に比べて「①学校教育目標達成のため、実態に即した学校経営が行われている。」は「A：そう思う」が10%以上改善している。しかし、「⑤P→D→C→Aの手順で、本校の教育活動が取り組まれている。」では、約10%下がっている。また、③についても、「A：そう思う」は、4割を切っている。</p>	
改善策	<p>・「⑤P→D→C→Aの手順で、本校の教育活動が取り組まれている。」については、前回は10%以上改善した項目である。「P→D→C→Aの手順で教育活動を改善していく。」という意識は職員間で共有されてきている。評価を基に改善されてきているという実感とともに、さらに改善が必要な項目が洗い出されてきていると思われる。今回の学校評価結果についても、職員の共通理解のもとに目標や具体的な方策を講じていく。</p>	

2 「学校経営・組織について」	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>②, ③, ⑥については、「A：そう思う B：ややそう思う」という評価になっている。①, ④, については約6%, ⑤については17%「改善を必要とする」との回答が出ている。また, ⑤は「A：そう思う」が約11%と低くなっている。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「職員会議が昨年より能率的に行われた」という記述の意見もあった。しかし, 全体的には評価は良くないので, 会議や打合せの内容を精選するとともに, 進行の仕方を工夫し, 充実させていく。</li> <li>運営委員会の持ち方や職員会議との関係を明確にし, 有効に活用していく。</li> </ul>
3 「学習指導・生徒指導について」	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①, ②, ③, ⑤, ⑥については、「A：そう思う B：ややそう思う」という評価になっている。特に②, ③については、「A：そう思う」が10%以上改善している。しかし, ④については, 約6%「改善を必要とする」との回答が出ている。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合い覚え書の活用等により, 授業改善を図ってきた。今後も, TT等を効果的に活用しながら, 1時間1時間の授業を大事にしていく。</li> <li>放課後学習「夕学」やチャレンジテストにより, 個に対応した指導を続けていく。</li> <li>学年まとめのテストを利用して, 基礎基本の定着を図る。</li> </ul>
4 「地域との連携について」	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①, ②, ③については、「A：そう思う B：ややそう思う」という評価になっている。特に①「地域の人材や施設を利用し, 地域の教育力を活かす体制が整えられている」については, 20%以上改善している。しかし, ④は約12%, ⑤は約6%「改善を必要とする」との回答が出ている。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 専門部の活動は, 前年に比べると改善されたが, さらに保護者や教職員が積極的にかかわるような企画をしていく必要がある。</li> <li>自転車乗車時のヘルメット着用, 防災用備蓄等, P T A との協力で行うことができた。今後も, 保護者や地域の意見に丁寧に対応し, 協力し合うことで, 信頼される学校づくりを推進する。</li> <li>読み聞かせや3年の社会科学習等で地域人材活用を行うことができた。今後もさらに地域の教育力を生かしていきたい。</li> </ul>
5 「学校の特色について」	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①, ②, ③すべて「A：そう思う B：ややそう思う」という評価になっている。特に①は約80%, ③は約56%は「A：そう思う」となっている。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や児童会行事においては, 職員がねらいを共有したうえで, 児童の主体的な取り組みを促していく。</li> <li>3年の総合的な学習においてすももを教材として取り上げている。今後も学年を超えて情報交換しながら, 地域教材を開発し指導に努める。</li> </ul>

### Ⅲ 児童へのアンケートによる評価

#### \*多くの項目で今年度の1回目のアンケートに比べ、肯定的な回答が増えている。

##### 1 「学校生活について」(項目：①, ⑩, ⑪, ⑫)

◇「①学校が楽しいか」の項目は、約87%が肯定的であった。

- ・児童が意欲的に取り組み、達成感を感じることができる活動や学習を増やしていく。また、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している児童については、原因を探り、個別に丁寧に対応していく。

◇「⑩掃除活動」「⑪きまりや約束」「⑫児童会活動・学校行事」の項目は、約90%以上の児童が肯定的な回答である。特に「⑫児童会活動・学校行事」は今年度の1回目のアンケートと比べても約5%以上改善している。

- ・発達段階に応じて一つ一つの活動の意義や目的を十分に伝え、自律的に取り組めるよう促していく。「⑪きまりや約束」については、「あまり守っていない」「守っていない」と答えている児童に個別に対応し、どうしたら守ることができるか一緒に考えていきたい。今年度の児童会活動では、あいさつ運動に組み込み、児童が自主的な活動によって自分たちの学校が良くなっていると自覚できていた。今後も、児童会を中心としてどんな学校を作りたいか自分たちで考え、取り組んでいけるような指導をしていく。

##### 2 「授業について」(項目：③, ⑤)

◇「③授業がわかるか」の項目について、約90%が肯定的であった。

- ・今年度の1回目のアンケートと比べて約4%改善した。概ね肯定的であるが、校内研究と関連させて「どの子にもわかる授業づくり」を心がけていく必要がある。「あまりわからない」と回答している児童の声を真剣に受け止め、授業改善を図っていく。また、「夕学」「チャレンジテスト」を活かし、個別指導の充実を図りたい。

◇「⑤授業中の発言」の項目については、肯定的な回答は約62%と低い。

- ・「話し方」「聞き方」を全校で共通理解のもとに指導していく。授業の組み立てを工夫し、児童の発言の場の設定していく。

##### 3 「友達・教師との関わりについて」(項目：②, ④)

◇「②仲良く遊ぶ友達」の項目について、約95%が肯定的であるが、約5%が否定的な回答であった。

- ・全体としては、概ね良好な関係が築かれていると考えられるが、これからも児童の行動や様子を観察する中で、適切な対応を迅速に図っていきたい。
- ・職員全員で情報交換を行い、気になる児童や出来事には全職員で対応していく。

◇「④困ったとき話ができる先生」の項目については、肯定的な回答が約78%となっている。

- ・担任だけでなくすべての教職員が児童とのふれあいを大事にしていく。気になる児童については、こちらから声をかける。

##### 4 「家庭での生活について」(項目：⑥, ⑦, ⑧, ⑨)

◇「⑥宿題の他の自主学習」については肯定的な回答が約72%、「⑦学校のことを話すか」は75%、「⑧たより・通知を渡すか」94%、「⑨地域の人との挨拶」は約95%と概ね良好である。特に「⑥自主学習」は8%、「⑨挨拶」は4%、今年度の1回目より、向上している。

- ・「家庭学習の取り組み」が効果を上げてきていると考えられる。今後も保護者や地域と連携していく。

#### IV 保護者アンケート

##### 1 「子どもの姿」(項目：①)

◇ 「児童にとって、学校は楽しいところだと思うか」の項目については、96%が肯定的な意見であり、2%が否定的な回答であった。

- ・ わずかではあるが、前回と比べて改善している。しかし、まだ、否定的な意見があることは真摯に受け止めていきたい。多くの保護者が、「児童にとって、学校は楽しいところだ」と感じている。これは教職員の日々の努力の成果であり、今後も継続していきたい。

##### 2 「保護者と学校の関係」(項目：②・③・⑦)

◇ 「通知等は、学校の様子を知る機会になっているか」については98%が肯定的な回答であり、「懇談会等は、連携を深めるのに役立っているか」については、93%、「保護者は、PTA活動や学校行事に参加しているか」については、85%が肯定的な意見である。

- ・ 「学校だより」「学年だより」等の発行や「一日学校開放日」の開催により、学校の様子を知ったり、連携を深めたりするのに役立っているという意見が大勢を占めている。家庭の事情で、授業参観等に参加できない場合もあると考えられるので、電話や連絡ノート等活用し家庭との連携がさらに深まるように取り組んでいきたい。

また、PTA活動の在り方については、今年度、専門部のあり方等を検討し、改善を図っているため、今後も保護者と協力して活動していきたい。

##### 3 「学習指導・生活指導」(項目：④・⑤)

◇ 「わかりやすく勉強を教えているか」の項目については、86%が肯定的な意見であり、6%は否定的な回答、8%は「分からない」という回答であった。

「生活指導に力を入れているか」の項目については、85%が肯定的な意見であり、前回に比べ7%改善した。

- ・ 「わかりやすく勉強を教えているか」の約6%の否定的な意見に対しては、日々の実践で応えていかなければならない。また、「学習指導」「生活指導」とともに「分からない」という回答があることに関しては、「学年だより」の発行や「学校開放日」の開催により学校の様子や情報を家庭に伝えることについて、さらに工夫していく必要がある。また、連絡帳や電話等で、児童の良い面を伝える工夫を重ねていく。今後とも、学習指導においては、「わかりやすい授業づくりや個別指導」等工夫して対応を図り、生活指導においては、児童の様子を観察し適切な対応を保護者と連携しながら迅速に行っていきたい。

##### 4 「家庭での様子」(項目：⑥)

◇ 「家庭では、基本的な生活習慣等を指導していると思うか」の項目については、約75%が肯定的な意見であり、16%が否定的な意見であった。

- ・ ケータイ・スマホに関わる問題等、保護者との連携が重要な課題が多い。特に保護者同士の連携・協力が必要なことも多いと思われる。学年部会等を通して、さらに一層、地域・家庭・学校と連携を図る中で、家庭の教育力の向上に期待し、児童の生活習慣の確立や規範意識、公共のマナーの向上を目指していきたい。

#### V まとめ

- ・ 学校教育目標や学校経営方針に基づき、全職員の共通理解のもと教育活動を行うことができている。
- ・ 教職員の自己評価・児童アンケート・保護者アンケートともに、今年度1回目の学校評価に比べ改善している項目が多い。これは、1回目の評価結果を踏まえ、それぞれの校務分掌において具体的な改善策を提案し、全職員で協働して取り組んできた結果である。今後もさらなる学校教育活動の充実を目指し取り組んでいきたい。
- ・ この結果を資料として学校関係者評価委員会に提案し、意見聴取・交換会等を実施することで、更なる学校教育の向上を図っていきたい。